

国蝶・オオムラサキ

「チョウ目タテハチョウ科」

日本の国花はサクラ、国鳥はキジです。オオムラサキは、昭和32年（1957年）の日本昆虫学会40周年記念大会において「国蝶」に決定されました。その1年前には、75円切手の図案に採用されています◆日本のタテハチョウ科の中では最大。翅を広げるとオスは約10cm、メスは約12cmです。翅の表面は、オスは青紫色に輝く部分があり、メスは紫がかつた茶色です◆成虫は雑木林に生えるクヌギや



オオムラサキ成虫オスと食樹のエノキ



左：75円切手のオオムラサキ。右：エノキの落葉とその裏で越冬する幼虫。上はオオムラサキ幼虫。下はゴマダラチョウ幼虫。

コナラの幹から染み出る樹液を吸います。夏にはカブトムシやクワガタムシと一緒にオオムラサキも見られます。幼虫はエノキの葉を食べ、越冬は幼虫態で、株元の落葉の裏で過ごします。エノキでは、近縁のゴマダラチョウやアカボシゴマダラも発生します◆埼玉県では、1960年代までは県東部の平野部でも見られたのですが、今は県西部の丘陵地帯から山地にかけてしか見られません。越生町では、ほぼ全域で観察ができません。樹液の出ているカブトムシが来るようなクヌギの木があったら、探してみてください。ただし、オオムラサキが見られるのは7〜8月の昼間だけです。（荻島和美）

おごせ アート ミュージアム 【越生小学校】



4年 中島 玲奈さん 「ゆめをはこぶドラゴン」



3年 長島アイヴィーさん 「ゆめの中のくま」



あとがき

広報おごせの有料広告掲載料の減額をしてから早3ヶ月が経ちました。しかし、申込数はなかなか増えません。

掲載したいけど作るのが手間だなと思う方は私にお任せください。載せたい内容を教えていただければ、誠心誠意取り組みます。8割の出来だといって2割引には（申し訳ございませんが）できません。いや、満足させられないことなんて絶対ない！12割ものが出来たといってお褒めの言葉をせがんだりはしません。今だけ特別価格1枠5,000円（2,000円引き）、2枠7,000円（3,000円引き）！この機会にぜひご利用ください。【太陽】

7月の納税（7月31日まで）

固定資産税 第2期
国民健康保険税 第1期

バーコード印字のある納付書は、納期限内に限りコンビニエンスストアでの納付に使用できます。詳細は納付書をご覧ください。

人口と世帯 6月1日現在（ ）は前月比

総人口	12,355人 (-16)
男性	6,160人 (-11)
女性	6,195人 (-5)
世帯数	4,941世帯 (+4)